



2022年10月31日

各位

会社名 株式会社ジェイテック
代表者名 代表取締役社長 藤本 彰
(コード 2479 東証グロース)
問合せ先 経営企画室長 西田 和弘
(TEL 03-6228-6463)

第2四半期累計期間業績予想（連結）と実績値との差異、 および個別業績実績値と前期実績値との差異に関するお知らせ

当社は、第2四半期連結累計期間（2022年4月1日～2022年9月30日）の業績予想に比べ同期間の実績値に差異が生じるとともに、個別業績の前期実績と本日公表の実績値との間に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 2023年3月期第2四半期累計期間業績予想（連結）と実績値との差異

(2022年4月1日～2022年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 1,655	百万円 11	百万円 25	百万円 18	2円27銭
実績値 (B)	1,578	34	62	31	4円01銭
増減額 (B-A)	△76	23	37	13	—
増減率 (%)	△4.6	215.8	150.9	76.7	—
[ご参考] 前年同四半期実績 (2022年3月期第2四半期)	1,427	△130	6	△1	△0円15銭

2. 差異の理由

景気等先行き不透明感が続き見通しが立ちにくい中、当社グループの主力事業である技術職知財リース事業において、テクノロジストの稼働状況は回復方向で進みましたが、人員数ベースで若干減、営業活動への注力と教育環境の強化で、高付加価値業務への配属やローテーション等の施策による平均単価の上昇に努め、売上高は対予想値で微減の着地となりました。

利益面では、引き続いての全社的なコスト削減活動に加え、新卒テクノロジストの順調な稼働開始、計画想定になかった雇用調整助成金等で、予想値を上回る結果に繋がったものです。

3. 2023年3月期第2四半期累計期間個別業績（2022年4月1日～2022年9月30日）実績値と前期実績値との差異

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
前期実績値 (A)	百万円 876	百万円 △98	百万円 △21	百万円 △19	△2円45銭
当期実績値 (B)	1,015	△24	△18	△23	△3円00銭
増減額 (B-A)	138	74	3	△4	—
増減率 (%)	15.8	—	—	—	—

4. 差異の理由

新型コロナウイルス感染の影響等で、営業活動が制限されていた前期から状況は回復し、特に新卒テクノロジストの稼働開始等が早まったことで売上高は増加しました。一方、前期には営業外収益で投資有価証券売却益や今期よりも多額の助成金収入等があったことから、利益面では差分縮小となりました。

5. 通期連結業績予想について

2023年3月期通期の連結業績予想につきましては、現時点において修正はありません。今後の業績の進捗状況に応じて、修正が必要と判断した場合には速やかに公表いたします。

以上